

心理学部 父母会会報



D O S H I S H A
U N I V E R S I T Y
Faculty of Psychology

No. 09

December.2013



D O S H I S H A U N I V E R S I T Y Faculty of Psychology

人生の幸いは、
己れ自ら幸福を得るにあらず。
位台を究むるにあらず。
富、巨万を量らむにあらず。

—『新島襄教育宗教論集』 岩波文庫 202頁



八重と篤志看護婦(1905年)



新島八重と赤十字の看護婦(1906年)



同志社礼拝堂(チャペル)

■ ご挨拶	4
■ 父母会イベント	6
■ 就職情報 1 「就活座談会」	7
■ 就職情報 2 「就職先/進学先一覧」	13
■ 学生レポート 「ゼミ探訪」	14
■ キャンパスQ&A	16
■ 学部生の活躍	17
■ わたしの学生生活	18
■ ご父母より	20
■ 教員メッセージ	21
■ 新島襄クイズ	22
■ 学部インフォメーション	23

同・志・舎

初冬の頃、皆様におかれましては益々ご清米のことと存じます。

日頃は父母会の活動にご支援およびご協力を頂きまして深く感謝申し上げます。

クローバー祭も終わり、4月には新入生だった子どもたちも大学生活を謳歌している頃ではないでしょうか。

父母会の活動は、新入生父母交流会から始まり、総会・懇親会・キャンパスフェスタに併せて地方懇談会が開催され、講演会など毎回趣向を凝らした企画をしております。

今回私は、7月に開催されました岐阜地方懇談会に出席させて頂きました。

そこで5月の懇親会のとき同じテーブルで一緒させて頂いたご父母と再会し、学年の枠を越えて親しくお話しすることが出来ました。

また、他学部の保護者の方、卒業生の方とも接し、同じ志を持って集う学び舎を通し、有意義な時間をもつことができました。

このような行事を通して、大学のことや学生たちの様子を知って頂ければ幸いです。

最後になりましたが、教職員の方々には父母会の活動、運営にご尽力頂き心より御礼申し上げます。



父母会副会長 佐藤 由美



自分を発見する寄り道のできる時間

最近の大学生のレポートを見ていますと課題について非常に詳しい情報を盛り込んだレポートにしばしば出くわします。これは一生懸命調べてレポートを書いたということになるのですが、よく言われるように「コピペ」つまりインターネットで探した何らかの答えをコピー＆ペーストしてそのままレポートに使っているという内容だったりします。

われわれが学生であったときにも似たようなことはしていたわけで、たとえばレポートを書く場合には、何らかの本を調べてその中の文章を自分なりに変えて書き写していたというようなことがありました。しかしわれわれの世代ではそれをしようとすると図書館でまず本を探したり書店でそれを購入したりして、また少なくともその中身をざっと眺めて必要な部分を探さなければならなかったと思います。そんなふうにレポートを書くのに使った本が、手にとって見ると非常に面白く、そのまま読んでしまうということも結構あったように記憶しています。それが今の自分にとって重要な知識になっていることが多々あります。

しかし、現在の学生のレポートの多くが、効率的ではあるのですがキーワードなどでインターネット検索をかけ、そこで検出された文章をそのまま「コピペ」してしまうために、本人すらも自分が書いている文章の意味が分かっていないということがあります。良い意味で言えば、効率よく勉強し、あるいはレポートを書こうという姿勢なのだと思いますが、そこで寄り道をしたり、無駄な時間を使ったりということを極度に嫌っているように思えます。このようなことが現在の大学生の行動を象徴しているようにも思えます。

合理的に無駄をなくすということは達成すべき目標が見えている時には大変重要なことです。しかし、大学時代は自分の人生がどのような目標に向かっているのだろうかと模索しているところです。人生は単に合理的に効率良く生きようとするのではうまくいきません。少し寄り道をするという余裕と遊び心を持って、自分自身を発見していくというプロセスを大切にすることが大学生という人生のステージでは重要です。われわれ教員はそのような寄り道を人生探求の試行錯誤として応援したいと考えていますし、ご父母の方々もそれを温かい目で見守ってあげていただきたいと思います。



心理学部長 佐藤 豪

■ 父母会イベント



キャンパスフェスタ村田学長挨拶(11月4日高知)



地方懇談会 教員面談(10月12日大分)



心理体験コーナー(11月3日京都)

2013年度同志社キャンパスフェスタ

心理学部地方懇談会

今年度のキャンパスフェスタは、岐阜・福島・東京・大分・高知・秋田・山口で行われ、心理学部父母会では京都地区も加えて、地方懇談会を同時開催しました。

岐阜地区では青山謙二郎教授による講演会を行い、心理学に触れるひと時を過ごしました。また、京都地区では鈴木直人教授による講演会、京田辺クロバー祭出展企画の心理学部生による心理体験コーナー見学を行い、心のはたらき・不思議さを簡単な実験で父母に体感いただきました。

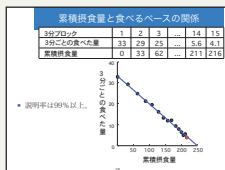
地方懇談会の取り組みとして、教職員と父母の懇談・教員との個別面談なども行っております。地域や学年を問わず交流できる機会ですので、情報交換の場としても活用されてはいかがでしょうか。

教員講演会のご紹介

岐阜地区 青山謙二郎教授

「行動の法則を探る」

私はスキナー箱という装置を用いてセッション内減少を調べています。スキナー箱にはレバーがあり、レバーを押すと小さな餌粒が提示されます。空腹のラットをスキナー箱に入れて訓練すると、ラットはレバーを押して餌を得ることを学習します。十分に訓練を積むと、毎日の数十分間の実験セッションの中で、レバーを押す行動のペースに規則的な変動が生じます。これがセッション内変動で、それを分析して行動の法則を導き出すのが私の仕事です。



地方懇談会 教員講演(7月15日岐阜)

京都地区 鈴木直人教授



地方懇談会 教員講演(11月3日京都)

「山本覚馬」

今、同志社では「八重の桜」が話題になり、兄・山本覚馬の株が急上昇しています。新島襄がキリスト教に基づく英学校を開校しようとした時、現在の今出川校地を提供しただけでなく、同志社の名前の名付け親も当時京都府の顧問をしていた覚馬でした。同志社成立に欠くことのできない人物なのですが、何ゆえか同志社の中で無視され続けてきました。その理由は分かりませんが、覚馬は非常に先を見通すことのできる人物で、日本にとって必要な開明的近代化の諸施策を打ち出し、京都の近代化に大きな貢献をしました。

今日、同志社があるのも、新島襄の偉大さと共に、山本覚馬の存在があることを今一度覚えたいものだと思います。

2013父母会誌企画

就活を通して得たもの、学んだものを4年次生に語っていただきました。
これから就活がはじまる3年次生たちへのヒントを探ります。

心理学部生による就職座談会 ―就活を考える―

座談会
参加者

司会進行
心理学部就職支援委員
小松さくら特任助教

4年次生(内定者)
佐々木彩花さん(航空)
長田 麻希さん(アパレル)
辻 弘佳さん(生保)

3年次生
宮本 真衣さん
久田 智之さん

心理学部に入学した動機

小 松 本日は、すでに内定を獲得した4年次生3人とこれから就職活動始める3年次生2人の皆さんに就活について話をさせていただきます。よろしくお願いします。4年次生に就職全般について話を聞き、3年次生の質問に答える形で対談を深めたいと思います。まずは皆さんに自己紹介を兼ねて、心理学部に入学した動機をお聞かせください。



小松 さくら特任助教

佐々木 4年次生及川ゼミの佐々木彩花といます。もともと人と人の関わりに興味を持っていて、周りの人の支えになれる人間になりたいと思い、心理学部を選びました。

長 田 4年次生渡邊ゼミの長田麻希と申します。私が心理学部を選んだ理由は、受験勉強をしていた時に先生方が皆のモチベーションを必死に上げようとしているその姿に非常に励まされたので、心理学部でモチベーションについて学びたいと思いました。

辻 4年次生竹原ゼミの辻弘佳と申します。高校生の時から、実際にあるものと自分が思っているものが違うということにすごく興味を持ち、認知

心理学を学びたくて、心理学部を選びました。

宮 本 3年次生及川ゼミの宮本真衣です。私は辻さんと同じで、人のものとの見え方が人それぞれに違うということに気づき、それについて同志社だったら科学的に研究できると聞いたので同志社の心理学を受験しました。

久 田 3年次生及川ゼミの久田智之です。僕は浪人をしていたり、体調を崩していたりで、いろいろ考えることや悩むことが多かったのですが、その時に社会学者の加藤諦三さんの本を読んで、物事の考え方や社会の見方が面白いと思って心理学部に進みました。

内定までのそれぞれの道のり

小 松 それではまず、4年次生の皆さんに内定までの道のりについてお話ししていただきたいと思います。

佐々木 私は就職活動を始めるに当たって、自分自身が何をしたいのかや自分自身が好きなものは何かと自分を見つめることから始めました。その段階を経て、自分が興味を持てる仕事に就きたいと考え、航空業界を選びまし



4年次生 佐々木 彩花さん

た。人と人との関わりにも関心がありましたので、その中でもお客様と関われる客室乗務職に興味を持ちました。決めた後はその企業をよく調べました。自分自身がやりたいことをどの企業で実現できるのかを明確にするためにその企業をしっかり研究したのです。面接が始まって気をつけたことは、面接を楽しむことでした。自分自身を見つめて分かった自分のことと企業研究して分かったことの二つを楽しみながらしっかり伝えることで内定できたのだと思います。

小 松 人との関わりに興味を持ち、人と接することのできる客室乗務員を選ばれたわけですが、航空業界以外の接客業も考えたりしたのですか。

佐々木 最初は他の業界も考えました。責任とやりがいのある仕事をしなかったのも、お客様の命をお預かりしている客室乗務員に魅かれたのと、空と旅行が好きなので選びました。

長 田 私は少し違って、最初はいろんな業界を見ていました。自分がどういう仕事に向いているのか全く分かっていない状態で、いろんな業界の説明会に行ったり、エントリーシートを出していました。その中でもやっぱりこれがやりたいというのが見当たらず、そこを見抜かれているのか面接もなかなかうまくいかなくて、これじゃだめだと考えて、いったん就職活動を中断し、自分が今まで何をしてきたのかを考えました。私は服飾サークルに所属していて、先輩が作った服を着させていただくことがあり、服が好きなのはすごく生き生きしていたし、私自身もそういう服を着させてもらってすごく嬉しい気持ちにもなりました。そういう経験から私も服を通して人を幸せにしたいという思いを持ちました。それからはアパレル業界にしばって内定をいただきました。

小 松 服飾サークルではどんなことをするのですか。

長 田 よく面接でも聞かれたのですが、部員が服を作ってファッションショーで披露していました。学内でもファッションショーをやりましたし、他大学と合同のこともありました。私は作る側ではなく、モデルとしてファッションショーに出ていました。デザイナーになる人もたくさんいます。

辻 私は12月1日に就活解禁になってからセミナーなどを活用して、いろんな情報を集めることから始めました。その後、セミナーを聞いて魅力的だなと思うところをいくつか調べていく中で、自分が興味を持るところを絞り込めたので、そこを中心

に受けて最終的に内定をいただきました。

小 松 どういうところに興味が持てたのですか。

辻 自分が何かを働きかけて、何かをしたい人を支えていく仕事がしたいと思ったので、まず一番基本的な生きるということを支える生命保険会社を選びました。



試練をどう乗り越えたのか

小 松 これまで内定までの道のりなどじっくりお話しいただきました。今もまだ就職難の時代で、決まるまでに時間がかかると思うのですが、就活の中で一番苦労したところやつらかったこと、それをどう乗り越えたかを聞かせてください。

佐々木 私は、今は大変でもこれが何かにつながるんだと考えてやってきたので、そこまでしんどいと感じたことはなかったのですが、やはりエントリーシートの締め切りが集中していたり、用事があったりもそれを仕上げないといけなかったり、面接がいくつか同じ日にあったりで、時間管理や体調管理などがつらかったです。

長 田 私は、自分の行きたい業界が定まっていなかったのも、面接もうまくいかず、そこですごく苦労しましたね。自分が何をしたいのかが明確じゃなかったところで、すごく苦しみました。それでいったん就職活動から離れて、自分が何が好



4年次生 長田 麻希さん

きなのか、何に興味があるのかをじっくり考えて、乗り越えられました。自分のペースでやろうと考え、海外旅行に行って、気分転換して、みんながだんだん決まっていく中でも自分は自分だと考えました。

辻 私が一番つらかったのは、自分と向き合うこ

とでした。私はネガティブなところがあるので、自分は本当にダメだと思いこんだりして、そんな中で自分に向き合って、自分のやりたいことや性格も考えて、面接に臨みました。私は、面接が一番自分と向き合う時間だと思います。ある面接官に「何がそんなに不安なんですか」と聞かれたことがあって、正直に「就活の先が見えないので不安です」とお伝えしたら、「不安であるということはすごくいいことだ。それがあからこそ頑張ることができる」と応えていただき、その面接をクリアすることができました。

キャリアセンターが就活支援

小 松 就職活動をしていく上で、大学にはキャリアセンターという組織があり、就活を応援する様々なプログラムを用意しています。キャリアセンターは利用されましたか。

佐々木 はい。私は業界セミナーと企業セミナーを利用しました。あと、エントリーシートの書き方を教えていただく講座にも参加しましたし、直接キャリアセンターに行って、エントリーシートの添削をしてもらいました。

長 田 私も業界セミナー、企業セミナーに行きました。キャリアセンターの方には、大変お世話になりました。今出川のセミナーにも行きました。

小 松 セミナーは理系と文系の学部に合わせて、今出川と田辺で開催しています。心理学部は文理融合ですので、今出川のセミナーにも参加したわけですね。辻さんはいかがですか。

辻 私もお二人と同じで業界と企業セミナー、エントリーシートの書き方講座に参加しました。私の友達はOB、OGを紹介してもらえるので、キャリアセンターをよく利用していました。



マイナビ就職説明会(6月)

就活における心理学部の利点

小 松 次に就活の上で心理学部のよかったところ、有利だったところ、または不利だったところがあれば教えてください。

佐々木 私が見ていた職種は、人との関わりが重要ですので、人事の方に興味を持っていただきやすいなと感じました。デメリットは、心理学は専門色が濃いので、知らない人にうまく伝えられないのと、よく分かっていただけないところかなと感じました。

長 田 私が心理学部のメリットだと思うのは、私自身が人のモチベーションに興味を持って勉強していたので、その話をするとう人事の方も強い関心を持っていたのが良かったです。デメリットはあまり感じませんでした。

辻 私は人の心というか、考え方を勉強しているので、自分が不安になった時や友達が悩んでいることがあった時、科学的に見る視点を持っているところがよかったと考えています。デメリットは、先入観を持たれがちところで、それを前提にうまく説明するのが難しかったです。

小 松 これからいよいよ就職されるわけですが、企業に入ってどんな仕事をしたいか聞かせてください。

佐々木 個人的な目標ですが、まずは一人ひとりのお客様と真剣に心から向き合って、全員のお客様をほっこりさせる客室



4年次生 辻 弘佳さん

乗務員を目指したいと思います。7年後に東京オリンピック開催が決まったので、それもあって日本の良さやおもてなしの心を伝えたいと思います。そうした経験をたくさん積んだ後は、客室乗務員が地上に降りて総合職になるコースがあるのですが、そっちに行ければと思っています。サービスや商品の企画を通じて、より多くの人を笑顔にできる人を目指したいと思っています。

長 田 私はアパレル業界ですので、まずは接客業をするのですが、お客様とは付き合いの長いブランドなので、お客様との付き合いを大切にしたいと思っています。私もその服が好きで、その服を着たり、コーディネートしてもらった時にすごくハッピーな気持ちになるので、そういうお客様をたくさん作ってみたいです。バイイングにも興味があるので、海外に行つて服を自分で選んで店頭で置く仕事もやりた



いなと思っています。結婚もしたいし、子どももほしい。女性が多い会社なのでやりやすいのですが、人と関わる空間にずっと居続けたいなと思います。

辻 キャリアプランはまだよく分かっていないのですが、私が就職活動しようと思ったのは、まず社会に出て働いてみたいと思ったからです。社会に出て、実際に自分がこれまで生きてきた社会に直接的に関わって、それを動かす一員になりたいと思って、就活をしてきました。私が支えているその社会がうまく回っていると実感したいです。

ポジティブに思いを伝えて

小 松 最後に、これから就活を始める後輩にアドバイスををお願いします。

佐々木 私は就職活動を楽しんでもらいたいなと思います。私はもともとネガティブでしたが、ポジティブになったのは就職活動を通じていい面に目を向けた結果です。いい面とは自分を見つめる今までにない時間を通して、自分を知ることができ、自分を支えてくれている人たちの存在に気づいたことです。また、自分の将来、人生をどう生きていくのかを計画することでワクワク感を得ることもできました。就職活動をすることで、いろんな人にも出会えますし、いろんな価値観、いろんな考え方に触れることができ、とても楽しいなと思いました。いいところにいっぱい目を向けて、楽しんで頑張れば絶対内定が取れると思います。

長 田 自分の行きたい企業が見定まっていな人もすごく多い中で、周りが大手を受け、大手から内定をもらう人もいっぱいいると思います。どうしても大手志向になりがちですが、まず自分は何がしたいのかをちゃんと見定めて、企業名で決めるのではなくて、まずは就職説明会に行って、企業の魅力を感じ取って、エントリーしてその思いをきちんと伝えていけば、内定は取れると思います。

辻 就職活動する中で、ポジティブに行こうと

思ってもなかなか悩んでしまったりする人が多いと思います。佐々木さんが言うみたいにポジティブにいいばいいと思うけど、どうしてもネガティブになった場合には、いったん引いた冷静な目を持てば、何か見えてくると思います。何をすればいいかが分からなくて、焦って不安になることが多いと思うので、冷静な目を持って自分が何を目標としていて、内定をもらった後何がしたいかを考えることが答えに直結するんだと思います。

やっておきたい企業研究

小 松 ここまで4年次生の皆さんに内定までの道のりや後輩へのアドバイスなど就活について幅広くお話を伺いました。ここからは3年次生の皆さんに質問してもらい、4年次生の皆さんにはそれに答えていただきたいと思います。

宮 本 就職活動で、これをやっておいてよかったと思ったことはありますか。また、こうしておけばよかったと思ったことは。



3年次生 宮本 真衣さん

佐々木 よかったことは先ほども言ったのですが、自分を見つめること、自分をよく知ること、あとは企業をよく知ること。受かりたい企業の研究をやってよかったと思いました。

小 松 企業研究とは具体的にどんなことをするのですか。

佐々木 私の場合は、その会社のサービスや飛んでいる空港、どんな社会貢献をしているかななどを調べ、本もたくさん読みました。時刻表やウェブサイトもひたすら見ていました。

小 松 その企業の隅から隅まで調べるわけですね。長田さんはどうですか。

長 田 私は、自分のやりたいことに突っ走ってきた人間なので、そういうことは面接でも自信を持って言えるので、よかったと思います。やっておけばよかったのは、どういう形で人を幸せにしたいかもっと早くから自分の過去の経験とつなぎ合わせて考えておけばよかったなと思っています。

辻 しておいてよかったことは、軽音楽サークルの活動をイブ祭の11月末の引退ぎりぎりまでやれたことです。そこで私に与えられていたのが会長とサークルメンバー全体を支えるという仕事で就活先

にもつながる役割でしたのでよかったと思っています。就活のアピールポイントにもなりました。

筆記試験対策もコツコツと

久 田 エントリーシートなど面接のお話が出ましたが、筆記試験対策はどうされましたか。佐々木さんは航空業界ですが、英語も必要だったと思います。TOEICなども勉強されましたか。



3年次生 久田 智之さん

佐々木 TOEICは受けました。就職活動が始まる前は、テストがあるごとに受けました。筆記の比重は企業にもよりますが、問題集もしっかりやりました。

長 田 私はSPIの勉強をしましたね。本を一つ上の友人からもらって、それで勉強しました。内容は結構簡単なのですが、短い時間でいかに正確に解くかを問われるので、パターンを覚えるために何回もやりました。

辻 私も同じく本を自分で買って、解いていました。特に数学、算数の分野がパターン化されているのが多いので、通学の電車の中で取り組みました。

久 田 インターンシップでもグループディスカッションがありますが、気になるのは、普段以上にしゃしゃり出る人がいることです。面接でも、明らかに普段と違う良い子たちがいますが、そういう場面はどう振る舞ったらいいでしょう。

佐々木 私は、グループディスカッションでは、できるだけチームの足りない役をやろうと心掛けてきました。リーダーシップがない時はリーダー役をやり、リーダーが多い時は話を聞く役とか、話がそれたら元に戻す役とかそういった役割も必要だと思います。

久 田 良い子になって目立つ必要はないのですか。

佐々木 企業によって採点基準も違うでしょうが、目立つばかりではグループディスカッションが成り立たないでしょう。みんなで協力してつくりあげるものだと思うので、私は自分が足りない役になるのが一番いいのかなと思いました。

大切にしたい協調性

長 田 私が大切にしていたのは、協調性です。人の話を聞く姿勢をみられるので、自分の意見を主張

しながらも、人の意見も聞いて寄り添い合っていく姿勢が大切だと思いました。リーダーシップを取ること自体は悪くないのですが、私の経験では人の意見を受け入れない人はダメなケースが多かったです。

辻 そういう場では緊張もするし、アピールしたい、覚えてほしいと思うので、ある程度普段と違う行動を取るのとは仕方ないかもしれません。私が気づいたのは、普通の感覚を忘れないことです。就職活動中は、必死で内定を取りたいと自分が自分でなくなるのですが、何のために就活をしているかというところを就職して、企業の担い手となり、働くための活動です。そのために必要なのは自分が働けるということを見せることです。グループディスカッションは皆で働くわけですから、その時にどういう働きができる、どういう人なのか自然と分かってくると思います。

久 田 3人のお話を聞いて、すごく言葉遣いが丁寧だなと感じました。言葉遣いや振る舞いなどどう身に付けられたのですか。

長 田 言葉遣いはそんなに重視していないと思います。それよりもどんな人かを見ている。そこで魅力的だなと感じてもらえれば、ちょっと変な関西弁が入っても笑って見過ごしてくれると思いますよ。

小 松 よっぽど不安だったら、キャリアセンターで面接対策の一環としてマナーや言葉遣い、服装なども指導してくれます。もしも気になるならそういうところに行って、教えてもらったらいいいと思います。

宮 本 女性が働きやすい会社、例えば育休がちゃんと取れるかなどはどう見極めるのですか。

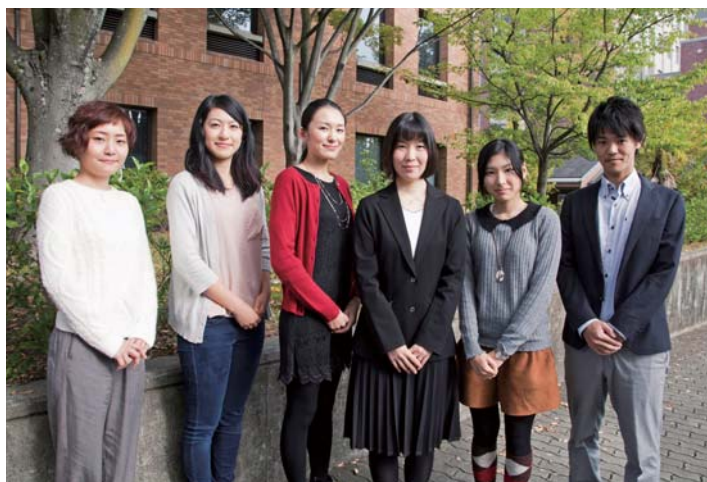
長 田 今は女性の社会進出が進んでいるので、育休がないというところはないですね。女性四季報という本に「くるみんマーク」が付いていて、このマークがついているところは女性に特に優しい企業だといわれています。



佐々木 大手は、ほぼ「くるみんマーク」が付いています。実際に取れているかどうかは企業セミナーに行ったり、働いている社員のお話を聞く中で、だんだん分かってくると思います。本には取得率などのデータも乗っています。

小 松 いろいろ体験に基づいた貴重なお話を聞か

せていただいたのですが、4年次生の皆さんは就活前と比べて、大きく成長されているんだろうと強く感じました。3年次生の後輩の皆さんにとっても、今後就活に取り組む上ですごくためになるお話だったと思います。本日はどうも有り難うございました。



採用の声

(株)岡山高島屋

営業推進部 総務グループ 総務チーム 総務マネージャー

吉宮 拓郎 氏(2000年度文学部文化学科心理学専攻卒業)

余語ゼミ生として「トラウマ」についての卒論を提出してから早13年。私は現在、岡山高島屋において総務マネージャーとして、人事を含む総務全般の責任者に就いています。職務柄、6月には京田辺キャンパスで就活について心理学部生を前にお話しさせていただく機会を頂き、その時と内容が重複はしますが、人事業務経験者として、心理学部生と父母の方にメッセージが届けられればと思います。

心理学部生は、「少数」で「進学率が高い」為、就活情報は他学部と比べると圧倒的に少ない反面、企業にはインパクトがあります。即ち、いかに積極的に他部学生等から情報を収集し、「心理学」のインパクトを活かす就職活動をし、「心理学」で培った思考を社会人として活用していくかが成功への鍵となります。

近年の学生は、終身雇用を望む安定志向への回帰が見られますが、多くの企業は学生に「主体性」「課題発見力」「実行力」を求めています。そしてこれはまさに、「心理学部」で学ぶ事そのものです。

心理学部で学ぶ事とは、①「文系と理系のハイブリッドな思考」と②「人間力」です。①は文系でありながらも、統計学や実験実習により、社会で必要とされるPDCAサイクル(計画→実行→結果検証→改善)を学んでいます。また、数値の大小だけに惑わされない、客観的で冷静な判断力が身に付いているはずです。②については、「人間の心理は測れない」事を誰よりも知り、相手の立場に立てるバランス力=人間力があります。この「文理ハイブリッド思考」と「人間力」を、興味のある事とリンクさせて「目標への課題を設定」をし、「主体的に実行する」事を繰り返し実行してみてください。何でもいいのです。バイトでもサークルでも、目標と課題に対してどう考え、分析し、どう行動し、改善しているか。ご家族の方も普段の会話やメールで学生に聞いてみてください。そして、それを就活で存分にアピールしてみてください。「心理学」には社会で活躍できるパワーが満ちています。それを活かすのは皆さん次第です。ご健闘をお祈りします。

■ 就職先／進学先一覧

進路名称	企業名／進学名	都道府県名／研究科名	人数	企業名／進学名	都道府県名／研究科名	人数
就職 (正規雇用)	株式会社ニトリ	北海道	1	イオンリテール株式会社	千葉県	1
	株式会社ヤクルト本社	東京都	1	株式会社フジエ・タルランド	千葉県	2
	株式会社エスクリ	東京都	1	アメリカンファミリー生命保険会社	東京都	1
	ソフトバンクグループ	東京都	1	株式会社アイビー化粧品	東京都	1
	旭化成ホームズ株式会社	東京都	1	株式会社アイジーエー	東京都	1
	株式会社マネジメントソリューションズ	東京都	1	株式会社アコースト・コーポレーション	東京都	1
	キリンビール株式会社	東京都	1	株式会社インテリジェンス	東京都	1
	株式会社システムリサーチ	愛知県	1	株式会社イオン銀行	東京都	1
	石黒メディカルシステム株式会社	京都府	1	A N A テレマート株式会社	東京都	1
	京都府 警察(警察官・警察事務 等)	京都府	1	株式会社カービュー	東京都	1
	株式会社りそなホールディングス	大阪府	1	三井住友信託銀行株式会社	東京都	2
	株式会社エヌ・ティ・ティマーケティングアクト	大阪府	1	株式会社スリムビューティハウス	東京都	1
	パナソニック株式会社	大阪府	2	東京海上日動火災保険株式会社	東京都	1
	エスアールジータカミヤ株式会社	大阪府	1	東京海上日動あんしん生命保険株式会社	東京都	1
	株式会社サカイ引越センター	大阪府	1	株式会社東横イン	東京都	1
	沢井製薬株式会社	大阪府	1	ディック株式会社	東京都	1
	山陽電気鉄道株式会社	兵庫県	1	日本出版販売株式会社	東京都	1
	チェンジャーホームはんしん自立の家	兵庫県	1	株式会社日本旅行	東京都	1
	株式会社伊予銀行	愛媛県	1	日本たばこ産業株式会社	東京都	1
	株式会社肥後銀行	熊本県	1	日本電子計算機株式会社	東京都	1
	株式会社りゅうせき	沖縄県	1	株式会社ノバレーゼ	東京都	1
				富士通工フ・アイ・ビー株式会社	東京都	1
				三井生命保険株式会社	東京都	1
				株式会社三井住友銀行	東京都	2
				株式会社ライフコーポレーション	東京都	1
				株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	東京都	1
				株式会社ロッテ	東京都	1
				株式会社StrapyaNext	神奈川県	1
				株式会社十六銀行	岐阜県	1
				社会福祉法人わたむきの里福祉会	滋賀県	1
				株式会社大垣書店	京都府	1
				京都信用金庫	京都府	2
			京都府国民健康保険団体連合会	京都府	1	
			地方独立行政法人京都市立病院機構	京都府	1	
			アミコ株式会社	大阪府	1	
			株式会社エーシーエヌ	大阪府	1	
			株式会社栄光堂セシモニーユニオン	大阪府	1	
			大阪府 警察(警察官・警察事務 等)	大阪府	1	
			キョーフ株式会社	大阪府	1	
			株式会社C D G	大阪府	1	
			住友生命保険相互会社	大阪府	1	
			ダイキン工業株式会社	大阪府	1	
			大日本除虫菊株式会社	大阪府	1	
			日本生命保険相互会社	大阪府	1	
			株式会社西尾家具工芸社	大阪府	1	
			株式会社飯食	大阪府	1	
			丸石製薬株式会社	大阪府	1	
			株式会社りそなホールディングス	大阪府	1	
			株式会社MonotaRO	兵庫県	1	
			株式会社エヌ・アイ・プランニング	奈良県	1	
			株式会社南部銀行	奈良県	1	
			奈良県	奈良県	1	
			株式会社ジェイアールサービスネット広島	広島県	1	
		計	22		計	57
進学	同志社大学大学院	心理学研究科	4	同志社大学大学院	心理学研究科	9
	関西学院大学大学院	文学研究科 総合心理学専攻	1	九州大学大学院	人間環境学 実践臨床心理学専攻	3
	京都文教大学大学院	臨床心理学研究科	1	帝塚山大学大学院	心理科学研究科 心理学専攻	2
	名古屋大学大学院	環境学研究科	1	関西大学大学院	心理学研究科	2
	兵庫教育大学大学院	学校教育研究科 人間発達教育専攻 臨床心理学コース	1	京都大学大学院	教育学研究科	1
	広島大学大学院	教育学研究科	1	京都大学大学院	文学研究科	1
	京都工芸繊維大学	工芸科学部	1	名古屋大学大学院	環境学研究科 社会環境学専攻	1
				鳥取大学大学院	医学系研究科	1
				上智大学大学院	総合人間科学研究科	1
				神戸女学院大学大学院	人間科学研究科 人間科学専攻 臨床心理学分野	1
				New England College	コミュニケーション学部	1
				大阪医療福祉専門学校	言語聴覚士科	1
				京都医療専門学校	言語聴覚科	1
		計	10		計	25
		男計	32		女計	82

※企業名が不明の場合は掲載しておりません

※企業名および進学名順不同

■ 人数内訳・業種別一覧

		男	女	合計	%
就職	メーカー	6	8	14	10.0%
	流通	1	9	10	7.1%
	金融	3	16	19	13.6%
	マスコミ・情報	3	2	5	3.6%
	教育・学習支援	0	0	0	0%
	サービス	4	16	20	14.3%
	公共・その他	5	6	11	7.9%
進学	大学院	9	22	31	22.1%
	その他	1	3	4	2.9%
未定・その他		10	16	26	18.6%
合計		42	98	140	100.0%





及川 昌典ゼミ (専門: 社会心理学)



お互いに切磋琢磨できるゼミ

心理学部心理学科 3年次生

田村 菜摘さん

まず、私が及川ゼミに入りたいと思った経緯をお話しします。私が大学に入って、様々なことを経験する中で、ある疑問を持ちました。それは、「なぜ、人はある目標に向かって行動しようとする意識しても、思い通りにいかなかったりするのだろうか。」というものです。今まで勉強や部活をする上で、私は何事も目標をもってそれを意識して行動し、自分の行動を見直すことが大切だといわれてきました。しかし、それでもうまくいかないことがたくさんあり、その原因もわからないままでした。だから、私は自分の卒業研究では、このような“人間の行動と意識”をテーマにやっていきたいと思っていました。そんな中で見つけたのが、「意識や無意識」に関する研究をしている及川先生のゼミです。そして、このゼミなら自分のやりたい研究がきつとできると確信し、このゼミに入りたいと思ったのです。

では、及川ゼミについて紹介したいと思います。ゼミの雰囲気は、穏やかで和気藹々としていて、ゼミの

メンバーはみんな個性的で面白い人たちばかりです。しかし、ただ面白いだけでなく、自分がやりたいことやこのゼミでの目標をしっかりとった真面目で発想力豊かな優秀な人たちなので、良い意味でお互いに刺激しあえる環境になっています。

ゼミの現状の取り組みとしては、課題に出された論文の中で関心のある論文ごとにグループに分かれ、発表とそのディスカッションをおこなっています。発表やディスカッションを通して、その論文の中の研究についてしっかりと理解を深め、その研究の疑問点を考え、そこから考えられる新たな研究の可能性を生み出し、時にはその仮説も立てます。このようにして、卒業研究に向けて、お互いに思考力を高めあっています。また、高度なプレゼンテーション能力も身につけられるので、自分たちにとって非常に重要な取り組みです。

今後もこのゼミで、卒論に向けてしっかり取り組んで、自分自身も成長していきたいです。



Teacher's Voice

心理学部心理学科

及川 昌典 准教授

これからの皆さんへ

世間には大学生活を長期休暇が何かのようにとらえる風潮がありますが、それは事実ではありません。これから10年の間に、みなさんは社会人としてのアイデンティティを形成します。キャリアを確立させます。生涯をともに暮らす伴侶と出会います。どんなアイデンティティ、どんなキャリア、どんな伴侶かは、大学生活を締め括るまでの取り組みによって大きく左右されます。準備はいいですか？全力で取り組み、大いに楽しんでください。



石川 信一ゼミ (専門:臨床児童心理学)



TEAM 石川信一ゼミ

心理学部心理学科 4年次生

石川 愛海さん

石川信一先生は子どもを対象とした認知行動療法、学校ベースのメンタルヘルス予防プログラム、児童青年期における異常心理学的研究をされています。私たち石川ゼミ生の研究テーマは、中学生における不安障害・被援助志向性・自閉症スペクトラム障害・攻撃行動に対する社会的スキル訓練の効果の検討、中学生の学習の動機付け、児童の認知の歪み尺度の作成など多岐に渡っており、自分の興味関心を研究することができます。

自由にテーマを決めることができるからこそ、自分で考えていることを何十本の論文、何十冊の本を読み、考察を繰り返し自分自身で研究を形作らなければなりません。毎回のゼミでは発表者を決めて研究内容に対してレジュメを作成し全員の前でプレゼンします。発表後には、研究内容、統計方法、使用する尺度、考察内容、小さなミスなど様々な内容に対して発表者にフィードバックを行い全員で研究内容についてディスカッションします。

自分ひとりでは気づかなかった欠点や新しいアイデアを知ることにより、研究に深みを出しより良い研究にすることができています。毎日ゼミ室にはたくさんのゼミ生がおり研究・勉強を協力し合いながら行っています。

私は将来、小児がん・小児科での入院を経験した子どもたちへの認知行動療法に基づくプログラムを構築し、総合的な心の支援者になりたいと考えています。小学校で担任の先生、生徒と実際に関わり合いながら実践研究ができること、心の問題を持つ子どもに対する心のケアを行えること、石川先生の優しく熱心な人柄に惹かれ夢の実現のため石川ゼミを選びました。ゼミ生みんなは、辛い時苦しい時手を差し伸べ支えてくれる、嬉しい時楽しい時一緒に笑合える仲間であり、切磋琢磨するライバルです。笑いの絶えない温かい大好きな石川ゼミでの素晴らしい恩師と仲間との出会いは私の大学生活4年間の宝物です。

Teacher's
Voice

心理学部心理学科

石川 信一 准教授

原石の集う場所

皆さんからは、さまざまな可能性の原石を感じます。すぐに光を放つ人もいれば、じわじわと輝きを増す人もいるでしょう。途中でその色を変える人もいるかもしれませんが、ともに切磋琢磨して自分の中の原石を磨きあってください。そして、それぞれの舞台上で自分色に輝かせてください。大学生活の瞬一瞬が、かけがえのないものとなるでしょう。その中に、ゼミの仲間たちとの思い出も加えてもらえたら、とても嬉しく思います。

CAMPUS Q&A

学生生活におけるよくある質問にお答えします。

Q

心理臨床センターについて教えてください。

A

同志社大学の心理学研究室が長年にわたり受け継いできた「基礎的な心理学と応用的な心理学の架け橋となる」という考えをさらに一歩進めて、現代社会を取り巻くさまざまな心理的問題の具体的な解決に寄与するため、2010年11月「同志社大学心理臨床センター」を今出川校地（継志館）に新設しました。

当センターは、利用していただく方のニーズに対応した、きめ細かで柔軟な援助を提供することはもちろんのこと、実証的な知見に裏打ちされた臨床心理学的な援助を提供することを目的とし、臨床心理士（財団法人・日本臨床心理士資格認定協会）の資格をもった教員（指導相談員）と専任相談員が中心になって運営されています。

また、大学院生の教育機関を兼ねており、指導・専任相談員の指導・監督の下、大学院生が相談に当たる実践を通して、研究能力を持って諸問題を解決し、実社会に貢献できる人材を育成しています。

同志社大学心理臨床センター

〒602-0932

京都市上京区新町今出川下る

徳大寺殿町345 継志館内

T E L 075-251-3282

開館時間 11時～19時

受付時間 11時～18時30分

ホームページ

<http://pscenter.doshisha.ac.jp>



Teacher's
Voice

心理学部心理学科

早樫 一男 教授

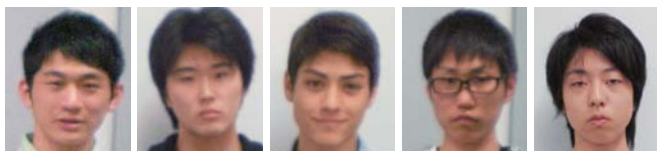
【心理臨床センター 副センター長より】

心理臨床センターは、一般の方を対象とした相談機関であるとともに、心理学研究科臨床心理コースで学ぶ大学院生にとっては教育機関となる重要な役割を担っております。将来、心理臨床家やカウンセラーを目指す大学院生に対し、スタッフ一同、きめ細かで丁寧な教育・指導を心がけているところです。第一期として修士課程を終えた2011年度生は、臨床現場での業務に従事したり、さらなる研究に専念しております。

引き続き、みなさまがたのご理解とご協力をお願いします。

■ ファーストイヤーセミナー ポスター制作発表会

1年次生の必修科目「ファーストイヤーセミナー」では、グループ毎に題材を決め、調査・ポスター制作・発表の課題があります。今年の優勝チームをご紹介します。



心理学部心理学科1年次生

小川 創之さん、川口 真司さん
國藤 光也さん、中谷 直哉さん
吉田 拓哉さん

テーマ 反捕鯨団体の主張は本当に正しいのか？

【要旨】

今回私は捕鯨問題、中でも反捕鯨団体の主張に注目してポスターを制作しました。ポスターでは捕鯨問題についてより理解を深めてもらうために調査捕鯨や商業捕鯨そして原住民生存捕鯨といった捕鯨の種類やその違い、また捕鯨の初期段階からの歴史、そして捕鯨に賛成している国と反対している国といった現在の捕鯨問題の概要を最初に説明しました。その上で「知的な動物である鯨を殺すことは残虐である」「捕鯨は違法である」「鯨は絶滅寸前である」という反捕鯨団体の3つの主な主張を取り上げ、それぞれが本当に正しく筋が通っているものなのかをデータやIWCの定めた条約を利用し考察しました。そして鯨が知的であるということは根拠がなく、また条約によって捕鯨は認められており、さらに現在では捕鯨は鯨が絶滅しないように捕まえる鯨の種類や量に規定を設けており絶滅の心配はないということがわかったため、反捕鯨団体の主張は論理的一貫性を欠いているとしてポスターにまとめました。

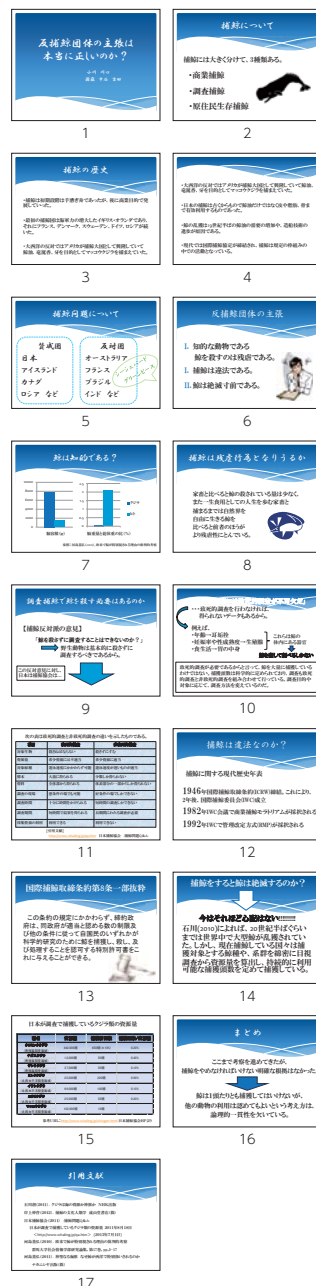
ポスター制作活動を終えて

「社会的に常識だと思われているが、実際には常識と異なっていること。」

私たちの日常にはこのようないわゆる「誤解」が多く潜んでいる。それは雑学のようなものから国際問題まで幅広く存在している。実際に捕鯨問題について調べるにあたって僕たち自身の「誤解」を見つけることができた。

捕鯨問題において捕鯨賛成派と反対派があったように、他の様々な問題でも相反する二つの立場というものは存在する。自分がどちらの立場を支持するか、自分の意見を持つときに必要な「正しい知識」を収集する大切さを改めて知ることができた。

今回ファーストイヤーセミナーの講義を通して、捕鯨問題に対する自分たち自身の立場・意見をしっかり持つことができた。そして何より自分たちの調査、他のグループの発表によって、自分たちが持っていた常識を見直すことができ、正しい知識を深めることができるいい機会となった。



Teacher's
Voice

心理学部心理学科
余語 真夫 教授

【クラス担当より】

受賞グループの諸君は協力して反捕鯨の主張を論駁する見事な主張をされました。社会では論理的に正しい主張をすればよいだけでなく、美しい論理や善なる論理を主張することも大切です。さらなる研鑽を期待します。

わたしの学生生活



大学生になって

西村 愛美さん [心理学部心理学科2年次生]

大学生になり、あっという間に1年と半年が過ぎました。広いキャンパスでの生活には、今でもまだまだ知らないことが多く、日々新しい発見の連続です。高校までとは違って、「クラス」がないので、登校して授業を受けて...というサイクルを繰り返しているだけであっても、より多くの仲間と交流する機会があります。

また、学内だけでなく学外でも、大学生になって初めて経験したことがあります。昨年の夏休みには、生まれて初めての海外旅行で、フランスへ行きました。大学生になってフランス語の授業をとるようになったため、現地で看板に書いてある意味や文法事項がほんの少しわかったことがとてもうれしかったり、日本にいただけではわからない、他国の文化に触れることができたことは、自分を成長させるものになったのではないかと、思います。また、現在アルバイトで、接客業をしていて、これまでの自分は、「お客様」の立場にしかなくなったことがなかったけれど、今度は毎回出会

う多くの「お客様」に気持ち良く過ごしてもらうためにどうしたらよいか、と考えさせられます。接客しているときには、ふと授業で学んだことを思い出し、その場で生かしていけると思えることもあり、このようなときには「心理学をやっていてよかった!」と感じます。ほかに色々な経験の中で、多くの人と出会ってきました。生きていくのに不可欠な「人との関わり」において、やはり私たちが学んでいる「心理学」は、大きな存在感を持っています。

私は以前から、心理学の中でも発達心理学に興味があり、将来もその分野で学んだことを生かした職業に就きたいと考えています。今はまだ発達心理学について、私の知識は少ないけれど、これからの自分の気持ち次第で学びの可能性は大きく広げられるように思います。今後の大学生活の中で、積極的にできることから挑戦していき、勉強面においても、1人の人間としても自分を磨いていきたいです。



自分を広げる

竹本 彩乃さん [心理学部心理学科2年次生]

期待と不安を胸に大学へ入学してから、気付けば1年半という歳月が経ちました。私が大学生活を通して感じたことは、親、友達、周囲の多くの人々への感謝でした。親元を離れ、一人暮らしを始めたことで、今までありとあらゆることを親に頼っていたのだと痛感しました。そして、毎日側にいてくれる家族がどんなに自分の支えであり、どんなに大切な存在であるのかということに改めて感じました。また、心理学部、サークル、アルバイト、多くの関わりの中で、多くの人と接し、多くの考えや価値観を共有しています。大学生ともなると自我を確立し独自の考えをしっかりと持っている人が大勢いるのです。実験、プロジェクト演習など、普段あまり話したことのない子との会話は特に多くの刺激を受けました。時には、思わぬ角度からの視点に驚くこともあります。日々いろいろな意見を参考にすることができ、今までの自分の視野がどんなに狭かったのかを思い知らされます。そして、グループワークを通して自分の意見を伝えなければならないという状況の中で、どのように周囲と関係を築いていけばい

いのかということも改めて学んでいる気がします。もう子供ではないけれどまだ大人ともいえない“大学生”という時期だからこそ素直に感じ、受け入れられるものがあるのではないのでしょうか。

私は今、これまで生きてきた中で1番、自由というものを感じています。時間、お金、すべての使い道が自分次第で決まるのです。私は大学生になり、自由な時間を利用して旅行をすることが多くなりました。旅行をすると、普段の生活では気付かなかった自分の可能性、新たな趣味を見つけることができるように思います。実際に、運動音痴な私がダイビングの楽しさに魅了されました。こういったことこそ、今、この時にしか経験できず、未来の自分の財産になるのではないかと、思っています。まだまだ海外の国々、日本の各地、訪れてみたいところはたくさんあります。残りの大学生活、悔いのないように、可能なかぎり自分の未来を広げる旅に出かけられたらと思います。

在学生PHOTOアルバム ～学生生活の一コマより～





素敵な出会い

兼本 佳恵さん [心理学部心理学科3年次生]

同志社大学に入学して、2年半が経ちました。最初の頃は怖いと感じていた関西弁にもすっかり慣れました。

初めて心理学に興味を持ったのは中学生の時です。高校生になり進学先を決める際、同志社大学には全国でも数少ない心理学部があると知り、最先端の心理学をこの場所で学びたいと強く思うようになりました。地元を離れることに對して不安はありましたが、ずっと興味を持っていた心理学を一から学べると思うととてもわくわくしたのを覚えています。地元を離れて進学することを決めたもう1つの理由として、全く知らない土地で新しい人間関係を築きたいという気持ちがありました。4年間という限られた大学生活の中で、たくさんの人との新しい出会いを通して自分自身も成長したいと思い、敢えて地元を離れることを決めました。

入学したばかりの頃は、初めての一人暮らし、初めての講義や実習など戸惑い不安になることが沢山ありました。し

かしそれ以上に、新しくできた友達と過ごす時間が本当に楽しくて毎日とても充実していました。心理学部は人数が少ないので、一度知り合った人とはすぐに仲良くなることができました。また、実験や演習などの少人数で行われる授業を通していろいろな人と関わることも、心理学部の良いところだと思います。他にもサークルやアルバイトなど、様々な場面でたくさんの出会いがありました。目標に向かって常に意識を高く持っている人、視野を広げて多くのことに挑戦している人、将来のために努力している人…。そんな人たちと出会って毎日と一緒に過ごし、日々刺激を受けています。

これから先もたくさんの素敵な出会いを通して、様々な経験をしたいと思っています。そして、いつも支えてくれる友達はもちろん、離れていても一番の理解者でいてくれる両親に対する感謝の気持ちを忘れずに、残りの大学生活も悔いのないように過ごしていきたいです。



誇らしい花を咲かせるために

佐竹 将希さん [心理学部心理学科3年次生]

英語の予備校講師になる。その夢に支配された、「未来志向」的な三年間を私は送ってきました。そして講師になるために行ってきたことの中から二つの挑戦と困難を記して、私の学生生活とさせていただきます。

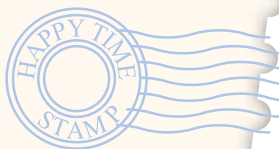
一つ目の挑戦は、全体授業の塾のアルバイトをしたことです。将来講師として生きていくのであれば、プレゼンテーション能力は必須です。ですから、学生の中から鍛えようと決意しました。しかし、全体授業をさせてもらうには、五つの筆記試験と五つの模擬授業の試験を通らなければいけません。これは大きな困難でした。万人が理解できるのは、そこに論理があるからです。理由をつけて筋道立てて、こうだからこうと教える技術は実は難しいものです。どんな説明で理解してもらえるかを朝から晩まで、試験の直前まで考えました。色んな講師の授業を見学しに行き、技術を盗みました。大学の空き教室に友人を招いて授業の練習もしました。そして、平均一年半はかかる全ての試験を九ヶ月で突破しまし

た。努力は報われることもあると確信した瞬間でした。そして今も未熟者ながら、多くの生徒の前で授業をして、日々自分のプレゼンテーション能力を磨いています。

二つ目の挑戦は留学で、実のところ今向き合っています。英語の講師として働くのであれば、どうしても海外の大学で本格的に英語を学ぶ必要があります。そして苦闘の結果、来年の同志社大学派遣留学の候補者として選ばれる運びとなりました。留学先ではきっと様々な困難が待ち受けていることでしょう。

ところで、全ての花が水と肥料だけで強く美しく咲くわけではないようです。ある程度のストレスをかけてやることで、それを糧にし、プラスの力に変えて理想の花をさかせるものもあるそうです。本当のところ留学は少し不安ですが、誇らしい自分を築くために、これからも未来を志向しながら努力を惜しまない覚悟です。





新しい世界へ

小野 雅子

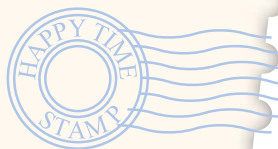
(心理学部心理学科1年次生 小野 由莉花)

娘が3歳の頃であった。「大きくなったら何になる?」と尋ねた。お花屋さん?お菓子屋さん?それともセーラームーン?などとかわいい答えを期待していた。娘は遊びの手を止めることもせず即答した。「ろば!」...ろばって動物の?なぜ動物?猫やうさぎ等かわいい動物ならまだしも、そんな馴染みの無い動物をどこで知った?いつも予想を超えてくる娘と一緒に過ごすことが楽しかった。

数年後、当時のことを聞くと、「その頃、『ブレーメンの音楽隊』が好きだったから。」と教えてくれた。「ブレーメンの音楽隊」は、もちろん有名なグリム童話だ。幼かった彼女には、ろば達の置かれた哀しい状況は理解できなかったようだ。ただ、ろばの、自分らしさを求めてたくさんの仲間と冒険し、幸せを見つけていく姿が魅力的だったのではあるまいか。

今彼女は私達の元から旅立ち、同志社大学心理学部で生き生きと学んでいる。「人の心を科学的に知りたい」と常々言っていたが、今まさに自分のやりたいことに向かって第一歩を踏み出した。どうかこのまま自分らしさを発揮し、たくさんの人と出会い、充実した生活を送ってほしいと願わずにはいられない。それこそが彼女が憧れていた生き方だと思うから。彼女は新しい世界に踏み出すのに何の躊躇も無い。彼女の辞書にはホームシックなどという言葉は存在しないようだ。私達は今まで親としてできる限りの愛情を注いできたつもりだ。その愛情をエネルギーにして、これからも自分の信じた道を突き進んでいてほしい。誇らしさの中にはんの少しの寂しさを隠して、彼女の後ろ姿をいつまでも見守っていきたいと思っている。

母より



心理学を学び、そして...

阪口 典子

(心理学部心理学科2年次生 阪口 真菜)

親子であの長い坂を登った入学式から、早1年半以上が過ぎた。思い返せば、去年の今頃は、長い通学時間、勉強、2つのサークルと慣れない大学生活に親子で戸惑いを感じていた。希望の心理学部、夢の大学生活のはずが、やりたい事はたくさんあるのに、アルバイトすら出来ない状態であった。

しかし、今はどうであろう。去年と環境は変わっていないが、そこにアルバイトが加わり、貯めたアルバイト代で、国内、海外を問わず、友人と旅行に出かけ、ファッションも楽しみ、とても大学生活が充実しているように見える。勉強の方では、発表に備え、情報を集め、班のメンバーと講義後も学内に残り、遅くまでディスカッションするなど、課外、課内共、精一杯取り組んでいる姿を、今は安心して見ていられる。

娘が学んでいる心理学というのは、今の時代、とても必要な学問であると、私は思う。しかし、心の病にかかる人は増え、心理学の知識を身に付けた人の需要があるはずなのになかなか、受け入れ体制が整っていない、と友人の看護師も話していた。現に、同志社大学心理学部の卒業生でも、心理学を生かした仕事に就いている人は、一部と聞いている。資格の有無等の理由もあるのか、そのような仕事に就くことは、難しいのかもしれない。

しかし、心理学部で学んだことは、必ず社会に出た時に生かされる、と私は思う。仕事としてではなくても、自分の周りの人、困っている人、弱い立場の人に、何かしら温かい手を差し伸べられるのではないかな。

残りの大学生活、たくさんの知識を得て、色々なことにチャレンジし、経験を積んでほしい。そして、娘には、世間に必要とされる社会人に、そして思いやりのある心優しい女性に成長してもらいたい。ささやかな母の願いである。

母より



同志社心理の目指すところ

心理学部心理学科 中谷内 一也 教授

保護者の皆さんは、子供たちが大学でどんなことを学んでいるのか関心をお持ちでしょう。しかし、なかなか本人は話してくれず、不満を感じておられるものと思います。学生の年齢ともなれば、自分の日常や何を勉強しているかを親に説明するなんてうざったくなるものです。私もそうでしたし、皆さんもそうだったのではないのでしょうか？そんな皆さんのために、同志社の心理学部での学びがどういったもので、何を目指すのか、こっそりと一部をお知らせしましょう。

まず、まっとうな心理学は、読心術ではありません。いくら勉強したからといって、目の前の人が腹の中で何を考えているかすべてお見通しになる、などということはありません。もし、お子様が「心理学を勉強して、最近はお人の心が読めるようになった」などと言ったら、それは真ッ赤なウソですので、むしろ大学に行かずヘンなところをほったき歩いていないか心配すべきです。

では、何を勉強しているのか？細かな内容は履修する科目やゼミのテーマによって異なりますが、共通するのは、**事実を根拠として論理的にものを考える姿勢**を重視するということです。ですので、もし、お子様と話していて、「いちいち根拠をいうようになった」とか、「リク

ツっぽくなった」というようなことがあれば、われわれとしても望外の喜びです。根拠と論理によって物事を判断する姿勢は、これからの人生においてきっと強力な武器となるでしょう。逆にもし、「大学に入ってから感覚だけでものを決めるようになった」とか、「なぜそうするのか、説明できないことが増えた」というようなことであれば、すみません、私どもの力不足です。反省の上、改善しますので、お知らせ下さい。

もうひとつ力を入れているのは、学んだ内容を自分の頭の中で終結させるのではなく、文書や口頭で他の人たちに伝える姿勢を育むことです。例えば、卒業研究では、研究内容を卒論（つまり文書）としてまとめるだけでなく、ポスター発表会においてプレゼンテーション（つまり口頭発表と議論）することを求めています。発表会では、自分の研究内容を概説するポスターを作成し、その前に立って来場者に研究内容を分かりやすく説明し、オープンに議論を進めなければなりません。ポスター発表会は2月はじめに実施され、保護者の方々もご参加いただけます。京都観光がてら、ぜひおいでいただき、学部での学びの成果をご覧いただければと思います。



経験のススメ

心理学部心理学科 渡邊 ひとみ 助教

授業中、「アイデンティティという言葉を知っている人はいますか？」と学生に尋ねると、非常に多くの学生が元気に手を挙げてくれます。そこで、「アイデンティティが何か説明できる人はいますか？」と質問を変えると、今度は必ず教室中がシーンと静かになります。“よく耳にする言葉なのに説明を求められると難しい”というのが多くの学生の声ですが、実はこのアイデンティティを確立することが大学生の発達課題のひとつであるといわれています。「過去・現在」という時間と「将来（未来）」をつないで見通し、「自分は何をするために生まれてきたんだろう？」「自分の目指す道は何だろう？」とあれこれ悩み、自分なりの肯定的かつ確信的な答えを見つけ出すことがアイデンティティの確立です。大学生は就職活動時にアイデンティティの問題に直面することが多いといわれていますが、どのような出来事でもアイデンティティ形成のきっかけになり得ます。

例えば、私は大学4年次生の頃、米国の大学に留学していたことがありました。異文化に飛び込むと日本では見かけない光景に出くわします。ある晴れた日、大学ショップの前に1台の車とハンマーが設置されていました。「何の

ための車か？」といぶかしく思っていると、学生がハンマーを手に持ち、心おきなく車を叩き壊してはいませんか！あとで友人に聞くと、日々のストレス発散のためだそうです。一番大きな部品を叩き落とした人が優勝だそうです。興味深いイベントですが、日本の大学で体験することはまずあり得ません。また仲間とのやりとりも刺激的でした。異なる価値観同士がぶつかり合いは、新しい価値創造と共に自己を再探求する機会をもたらしてくれます。それまで「自分とは何なのか？」と深く考えたことのなかった私は、この時初めてアイデンティティの問題と向き合った記憶があります。

長々と思い話を綴ってしまいましたが、要するに、その人の「内面的変化を引き起こす出来事」であれば、どのような出来事であってもアイデンティティ形成のきっかけとなるのです。心理学部の学生の皆さんには、4年間の間に多くの経験をしてほしいと思っています。様々な場所に行き、多くの人と会い、その中で確固としたアイデンティティを構築することは、これからの自分らしい人生の第一歩を踏み出す手助けをしてくれることでしょう。

新島襄クイズ

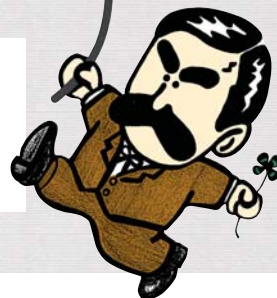
新島くんが出題するクイズに挑戦!!

新島襄検定問題集より抜粋

【正解数】

全 問…立派な同志社人！
4～5 問…もう少しで同志社人！
2～3 問…気持ちは同志社人！
0～1 問…がんばれば同志社人！

全問正解できるかな？



Q1

漢学、蘭学以外に新島青年の目を海外に向けた文学作品があります。さて、その作品とは？

- ①『ロビンソン・クルーソー物語』
②『十五少年漂流記』 ③『宝島』

「ロビンソン・クルーソー物語」は、ロビンソン・クルーソーの冒険記。新島襄が読んだ。①

Q2

箱館のポーター商会の日本人店員が、新島襄に脱国を手伝ってくれるアメリカ商船船長を紹介してくれました。さて、その店員とは？

- ①福士卯之吉 ②武田斐三郎
③菅沼精一郎

福士卯之吉は、箱館のポーター商会の日本人店員。新島襄に脱国を手伝った。①

Q3

新島襄はアメリカ、フィリップス・アカデミー在学中に洗礼を受けました。さて、洗礼を受けた教会は？

- ①オールド・サウス教会
②アンドーヴァー神学校教会
③マウント・ヴァーノン教会

アンドーヴァー神学校教会は、新島襄が洗礼を受けた教会。1866年12月30日に洗礼を受けた。②

Q4

新島襄は、選科生としてアーモスト大学に入学しましたが、学士号を取得して卒業しています。さて、その学士号の名前は？

- ①理学士 ②神学士 ③文学士

理学士は、新島襄が卒業した学士号の名前。1870年、日本人として初めて大学を卒業した。①

Q5

新島襄には自伝がありませんが、2度目の渡米中、ハーディー夫妻に自伝の手記を英文で書いて進呈しています。さて、そのタイトルを日本語でつけると？

- ①「同志社開校まで」 ②「信仰と私」
③「私の青春時代」

「私の青春時代」は、新島襄がハーディー夫妻に自伝の手記を英文で書いて進呈した。③

Q6

今出川キャンパスにある5棟の重要文化財のうち、新島襄が生きている間には完成していなかった建物が2棟あります。さて、そのひとつは？

- ①有終館 ②クラーク記念館
③同志社チャペル

有終館は、新島襄が生きている間に完成した。クラーク記念館は、新島襄が生きている間に完成しなかった。②

■ 心理学部・心理学部父母会行事

● 2013年度 心理学部 秋学期卒業式・学位授与式

日 時:2014年3月22日(土) 10:00 ～

場 所:京田辺キャンパス デイヴィス記念館

● 2014年度 新入生父母交流会(入学式)

入学式後、新入生のご父母対象に、学部および父母会活動の紹介を行います。

在学生による学生生活リポートも紹介の予定です。

日 時:2014年4月1日(火) 13:30 ～ 14:30 (予定)

場 所:京田辺キャンパス

(※入学式は、12:00から行われます。)



● 2014年度 父母会総会・就職講演会・懇親会

新役員・決算・予算・事業計画などでご審議ご承認いただく年1回の総会です。

就職講演会・懇親会も開催を予定しています。

ご家族皆様お誘い合わせのうえご出席お願い申し上げます。

(※詳細は、4月ごろ送付します。)

日 時:2014年5月24日(土) 10:00 ～ 15:00 (予定)

場 所:京田辺キャンパス



■ 学部学年暦

2013年度 秋学期

秋学期	9月21日(土)	秋学期始め・秋学期入学式
	23日(月)	秋学期履修科目登録変更
	24日(火)	
	25日(水)	講義開始
	10月14日(月)	体育の日(授業日)
	31日(木)	秋学期学費納入最終日
	11月3日(日)	同志社クローバー祭 (スポーツフェスティバル)
	4日(月)	
	26日(火)	創立記念行事週間(休講)
	27日(水)	
	28日(木)	
	29日(金)	創立記念日(休日)
	12月23日(月)	天皇誕生日(授業日)
	25日(水)	キリスト降誕日(休日)・冬期休暇開始
	2014年	
	1月5日(日)	冬期休暇終了
	6日(月)	講義再開
	23日(木)	創立者永眠の日
	27日(月)	講義最終日
	28日(火)	期末試験開始
	2月17日(月)	期末試験終了
	3月上旬	卒業可否発表
	3月20日(木)	秋学期卒業式・学位授与式
	21日(金)	
	22日(土)	在学生成績通知書配付
	25日(火)	
	31日(月)	秋学期終り

2014年度 春学期

春学期	2014年	
	4月1日(火)	春学期始め・春学期入学式
	2日(水)	春学期入学式(国際教育インスティテュート)
	2日(水)	新入学生履修指導期間 履修科目登録期間
	3日(木)	
	4日(金)	
	5日(土)	
	6日(日)	講義開始
	7日(月)	
	28日(月)	春学期学費納入最終日
	4月29日(火)	休日
	5月5日(月)	
	5月6日(火)	振替休日(授業日)
	7月21日(月)	海の日(授業日)
	26日(土)	講義最終日
	28日(月)	期末試験開始
	8月8日(金)	期末試験終了
	9日(土)	夏期休暇開始
	9月21日(日)	夏期休暇終了
	22日(月)	在学生成績通知書配付
	27日(土)	春学期卒業式・学位授与式
	27日(土)	秋学期履修科目登録変更
	28日(日)	
	29日(月)	春学期終り
	30日(火)	

(名称)

第1条 本会は、同志社大学心理学部父母会と称する。

(目的)

第2条 本会は、同志社大学心理学部(以下「学部」という。)の教育方針に則り、教員と学部在籍する学生の父母又はこれに準ずる者(以下「学生の父母」という。)との連絡を密にし、学生の就学を支援するとともに、学部の教育研究事業を援助し、学部の充実発展に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 父母会員 学生の父母
- (2) 参与会員 学部所属する専任教職員 若干名
- (3) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者

(事業)

第4条 本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学部と学生の父母との連絡を図る行事
- (2) 学生の教育、厚生、就職等に必要なる事業に対する援助
- (3) 学部の教育研究上、必要な施設の拡充及び学術研究に対する援助
- (4) 会報の発行及び配付
- (5) その他本会の目的を達成するために必要と認めた事業

(総会)

第5条 本会に総会を置く。総会は定期総会と臨時総会とする。

- 2 定期総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会の議を経て臨時に開催する。
- 3 総会は全会員をもって構成し、会長が議長となる。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 5 定期総会は、次の事項を決定する。
 - (1) 役員を選出
 - (2) 会則の改正
 - (3) 事業計画、予算及び決算
 - (4) その他重要事項

(役員及び役員会)

第6条 本会は、事業推進と企画立案のため次の役員を置き、その役員をもって役員会を構成する。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 会 計 1名
- (4) 委 員 若干名
- (5) 監 事 1名

第7条 役員は、次の方法によって選任する。

- (1) 父母会員の中から選出する。
- (2) 役員は、役員会の推薦により、定期総会に諮って決定する。

第8条 役員は、次の職務を行う。

- (1) 会長は、会務を統括し、本会を代表する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 会計は、本会の会計を管理する。
- (4) 監事は、本会の会務及び会計を監査する。

第9条 役員の任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。

第10条 役員会は、必要に応じ適宜開催し、次の事項を審議し、本会の事業を実施する。

- (1) 役員の推薦
- (2) 会則改正案の作成
- (3) 事業計画案、予算案及び決算案の作成
- (4) その他会務の運営、執行に関する事項

第11条 役員会は、緊急を要する案件は、総会に代り、審議、決定することができる。ただし、役員会で決定した事項は、総会において報告しなければならない。

第12条 役員会は、必要に応じて、この会則の施行に伴う細則、規程を定めることができる。

(運営資金)

第13条 本会の運営は、父母会員費、寄付金及びその他の収入による。

(父母会員費)

第14条 父母会員費は、学期額3,000円とする。ただし、学生が休学する場合は、父母会員費を免除する。

- 2 父母会員費は、毎学期の始めに納入しなければならない。
- 3 父母会員費の徴収は、大学に委託して行う。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局及び職員)

第16条 本会の事務局を心理学部事務室内に設ける。

- 2 本会は、本会の庶務会計等の業務を処理するため、職員を置く。

附 則

この会則は、2009年7月18日から施行する。

心理学部ホームページを
ご活用ください！
詳しい情報を随時発信
してまいります。



同志社大学心理学部

検索

<http://psych.doshisha.ac.jp/index.html>



●重要なお知らせ

「心理学部父母会」・「在学生の方へフォトアルバム」ページは、ログイン時にパスワードが必要です。各パスワードは父母会報春号にてお知らせしています。
(ご不明な場合は、お問い合わせください。)

ご父母のさまざまなご意見・感想などお待ち
しています。下記までご一報ください。



同志社大学 心理学部父母会会報 第9号

2013年12月13日

編集・発行／同志社大学心理学部父母会

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

TEL: 0774-65-8220 FAX: 0774-65-8223

E-mail: snr-fubo@mail.doshisha.ac.jp

印刷／株式会社 石田大成社